

はじめに

現在、世界の人口はおよそ76億人、アジアの人口は45億人、日本は1億2千万人といわれています。大変多くの人々が暮らすこの世界において、同じ場所で暮らし、同じ時を過ごすことは、奇跡に近いことだと思っています。横須賀で暮らす皆さまが、人生のどの場面にあっても、横須賀で暮らしてきて良かったと思えるまちづくりを進めることが、私の役目です。

少子超高齢社会といわれる今日、誰かが誰かを支えるのではなく、みんながみんなを支え合うことが必要です。ひとり暮らしのお年寄りや、介護や子育てに悩む方、日々のことや将来に対して不安を抱えている方々に寄り添えるまち、一言で表せば「誰も一人にさせないまち」の実現を目指しています。

そして、たとえ介護が必要な状態になっても、誰もが自分らしく安心して暮らし続けていけるように、「医療」、「介護」、「介護予防」、「住まい」、「生活支援」を一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」を、より充実させていきます。

このたび、平成30年度から平成32年度までの3年間を計画期間とした「横須賀高齢者保健福祉計画（第7期介護保険事業計画を含む）」を策定いたしました。皆さまが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう、この計画の推進に努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました横須賀市社会福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、アンケートやパブリック・コメント手続などにご協力をいただきました多くの市民の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

平成30年（2018年）2月

横須賀市長 上地克明